

大会名 Competition	第22回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-113	Year Month Day Time 2009 年 5 月 5 日 12 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
能代工業	(23 1st 18 18 2nd 20 28 3rd 18 19 4th 24 OT)	新潟商
88 ○		80 ●

主審:Referee 谷地 温 秋田県
副審:Umpire 緒方 崇 東京都
テーブルオフィシャル:Table officials 城南

No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名 Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	宮城 大喜 CAP	21	1	8	2	3	4	×	小野寺 弘晃 CAP	10	0	4	2	1
5	×	武藤 修平	9	0	3	3	3	5	×	新保 寛人	15	2	2	5	2
6	/	小川 昌志	2	0	0	2	1	6	×	田村 亮	6	0	3	0	4
7	×	湊 大樹	22	1	9	1	3	7		青山 充	-	-	-	-	0
8	×	伊藤 雄太	5	1	1	0	3	8		佐藤 寛人	-	-	-	-	0
9	×	伊藤 伸高	2	0	1	0	1	9	×	中村 博	13	2	3	1	2
10		藤田 洸	-	-	-	-	0	10	/	荻野 晃平	0	0	0	0	0
11	/	田中 浩喜	0	0	0	0	2	11	/	亀山 亮	4	0	2	0	2
12		溝坂 太成	-	-	-	-	0	12		小林 力	-	-	-	-	0
13	/	志水 一希	0	0	0	0	0	13	×	岩淵 俊紀	12	1	4	1	1
14		中山 祐樹	-	-	-	-	0	14		鳥越 皓幾	-	-	-	-	0
15	/	西嶋 宏哉	15	0	7	1	1	15		村越 俊紀	-	-	-	-	0
16	/	三上 翔平	12	2	3	0	2	16	/	小林 裕太郎	10	0	5	0	0
17		畑澤 哲平	-	-	-	-	0	17	/	鶴巻 拓哉	10	0	5	0	0
18		亀山 悟史	-	-	-	-	0	18	/	田宮 開	0	0	0	0	0
コーチ		佐藤 信長						コーチ		中屋 廣昭					
Aコーチ		安保 敏明						Aコーチ		丹波 浩之					
合 計			88	5	32	9	19	合 計			80	5	28	9	12

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、序盤、能代工はマンツーマンディフェンスがよく機能し、#4宮城、#7湊のドライブや3Pで流れをつかむ。一方の新潟商も厳しいディフェンスから流れを引き戻し、#13岩淵のドライブや#4小野寺のジャンプシュートで追いつく。能代工は#5武藤のインサイド、#7湊のドライブからのバスケットカウントで引き離すものの、新潟商も#9中村がブザービーターとなるジャンプシュートを沈め、23-18で第1Qを終了する。

第2Q、序盤から新潟商は#9中村の連続得点で一気に同点に追いつく。しかし、能代工も#15中村がミドルシュート、力強いインサイドプレーで得点を伸ばし、再び突き放すが、新潟商は#5新保が連続で3Pを決めるなど、ねばり強く攻め、41-38と3点差に詰め寄り前半を終える。

第3Q、能代工は#4宮城のインサイド、#16三上のドライブなどで突き放す。対する新潟商は能代工のスリークォーターからの1-2-1プレスに攻めあぐね、ミスが目立ち始める。能代工は#7湊のドライブからのパスに#4宮城、#16三上、#15西嶋がゴール下で合わせ、得点を重ねる。能代工ディフェンスにファウルがかさみ5ファウルとなってからは新潟商も#4小野寺、#5新保がフリースローを確実に決めるなどして食い下がるが、69-56と能代工がリードを広げて第3Q終了。

第4Q、新潟商は能代工のプレスディフェンスにうまく対応し始め、速い速攻から#13岩淵、#16小林、#17鶴巻が得点を重ね、点差を縮める。しかし能代工もインサイドを中心に攻め、#4宮城、#5武藤、#7湊が確実に加点し、リードを保つ。新潟商もオールコートプレスを仕掛け、局面を打開しようとするものの追いつくには至らず88-80で能代工が勝利した。